

週刊

愛知民報

2021年
10月3日
第2556号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

「比例は共産党」と津々浦々で

担い手広げ街頭へ



ハンドマイク宣伝に出発する岩倉市の共産党東新支部のみなさんと木村冬樹市議(一番右)、いたくら正文衆院愛知10区候補(右から3人目) 11月9日、岩倉市

政権交代めざす歴史的総選挙に力を合わせて取り組む支部、岩倉市の日本共産党の東新支部を紹介しします。

学習が力

党の第3回中央委員会総会決定(3中総)を読み合わせ学習したことで、「総選挙に本気で勝とう」と気持ちが一つになっています。支部は「得票目標800人をやりとげるために、日本共産党への支持を広げてくれる担い手を280人まで広げよう」と決めました。

9月23日、西村一男支部長と木村冬樹岩倉市議は、「しんぶん赤旗」読者や後援会員を訪問して「お知り合いに共産党への支持を広げてください」と訴え、「協力します」と約束してくれた担い手は170人を超えました。28日も担い手を広げる行動をしました。

3人入党

支部は、いたくら正文愛知10区候補を囲む集いや、党創立99周年の志位和夫委員長の講演視聴に読者や支持者を誘ってきました。その参加者の中から9月19日に1人、22日にもう1人、28日に3人目が、日本共産党に入党しました。支部は24人で、うち4人は高齢者施設に入所中でしたが、27人になりました。

西村支部長は、地域の自治会長を24年間つとめ、今は老人会会長で、地域での信頼も厚い人です。支部員から「西村さんの名前を出せば、みんな『ああ、わかった』となる」と言います。

音の宣伝も

木村議員は「ポスターとビラはほぼ終わった。さらに支持拡大と担い手を広げると

ともに宣伝をよろう」と呼びかけます。支部は「あの人はいつか大丈夫だから公明党に」とワンパターンを決めました。

支持拡大は得票目標比で5割をこえた所で、公明党・創価学

反共反撃果敢に

名古屋市中区で9月22日におこなった共産党の宣伝に、通行人から「暴力革命!」とヤジが飛びました。小酒井隆同党名古屋東北西中地区常任委員が30分かけて党の立場を説明すると「撤回する」と返答がありました。

文化予算抜本増額を

土井洋彦 学術文化委員会責任者

演劇、音楽、美術、文学など文化・芸術分野の日本共産党支持者は、総選挙勝利をめざす運動強化を申し合わせました。同党中央委員会学

術・文化委員会責任者の土井洋彦氏(写真)が「コロナ禍の文化の役割と日本共産党」と題し講演しました。土井氏は、共産党が取り組んでいる「総選挙必勝大作戦」への協力を要請。コロナから

命と暮らし、文化・芸術を守る日本共産党の政策を説明しました。そのなかで、国の文化予算の抜本的増額とともに、国際芸術祭・2019あいちトリエンナーレをめぐる「表現の自由」への介入・侵害を取り上げ、日本共産党は「文化芸術基本法や憲法の基本的人権条項を守り生かし、表現の自由を侵す動き

に反対する」と強調しました。あいさつした、もつむら伸子衆院議員(東海比例候補)は、総選挙必勝の決意を表明しました。もつむら氏は、文化芸術の事業支援と補償の拡充、フリーランスへの援助強化の政策を語り、比例東海の共産党2議席奪還、3議席挑戦への支援を訴えました。



選挙本番想定し宣伝カー一走る

日本共産党愛知県委員会の総選挙勝利をめざす宣伝キャラバンは、9月21日から選挙本番を想定した体制で運行しています。9月25日には名古屋市内で、しまづ幸広前衆院議員(東海比例候補)、井上さとし参院議員が国会情勢や共産党の政策を語り、比例での躍進を訴えました。